

● ファウルについて

1. (公財) 日本サッカー協会による「サッカー競技規則」による。(一部KERAMIK-CUPルールあり)
2. 壁際でボールを保持している選手が、必要以上に壁に両手を着いてプレーした場合、相手チームに間接フリーキックが与えられる。

● KERAMIK-CUPルール

1. ボールがタッチウォール(横の壁)を越えた場合、両足ともその一部をタッチウォールから1m以内のグラウンドにつけ、ボールが大きくバウンドしないように片手で転がす(ロールイン)。
2. ボールがゴールウォール(ゴール側の壁)を越えた場合は、ゴールクリアランスもしくはコーナーキックとなる。
3. ボールが会場の天井や試合フィールドに属さないものに触れた場合、触れた地点の真下に当たるフィールド上から相手チームの間接フリーキックにより試合を再開する。ボールが天井に当たり直接ゴールに入った場合、ゴールクリアランスもしくはコーナーキックから試合を再開する。
4. ゴールクリアランスにおいて、キーパーはペナルティーエリア内から自陣の味方にボールを手で投げる/転がす、もしくは足でグラウンダーのパスを出して試合を再開する。味方選手が触らずにボールがセンターラインを越えた場合、センターライン上から相手チームの間接フリーキックとなる。このルールは、キーパーがインプレー中に片手や両手でボールに触れてから足でコントロールし、そのボールをペナルティーエリア内から蹴った場合にも適用される。
5. フリーキックは全て間接フリーキックとなる。キックオフ、フリーキック、コーナーキック、ロールインでは、相手選手はボールから3メートル以上離れなければならない。
6. キックオフからの直接ゴールは認められない。
7. 得点は相手陣地内からのシュートのみ認められる。自陣内からのシュートでも相手陣地内で相手選手がボールに触れてゴールに入った場合、得点が認められる。OWNゴールは常に認められる。
8. キーパーへのバックパスルールは「サッカー競技規則」に順ずる。
9. 選手交代は何度でも可能だが、自陣ゴール側の右壁(交代エリア)から行わなければならない。交代時も試合は中断されない。交代される選手が外に出てから新しい選手がフィールドに入らなければならない。
10. PKはゴールから9mの地点から行い、PK戦ではレッドカードにより退場した選手以外で登録メンバー表に記載されているすべての選手に参加する権利がある。
11. オフサイドはない。
12. 審判への抗議、ビデオカメラなどによる判定への抗議は認められない。

● 警告・退場・ペナルティータイムについて

1. イエローカード累積2枚、もしくは1試合のうちに2枚目のイエローカードで退場を命じられた選手は直近の1試合を出場停止とする。
2. 悪質なファウルなどにより「一発退場」を命じられた選手は、KERAMIK-CUP出場資格を失う。
3. ラフプレーなどにより審判から2分間の退場を命じられた選手は、該当する時間(ペナルティータイム: 2分間)内、フィールドに入ることはできない。数的不利チームがペナルティータイム内に失点した場合、退場を命じられた以外の選手をフィールドに補充することができる。レッドカードにより審判から退場を命じられた選手のチームは、失点をし、なおかつ該当する時間(ペナルティータイム: 3分間)を経過している場合、退場を命じられた以外の選手をフィールドに補充することができる。ペナルティータイムは、大会本部、または、審判により監視される。